

病院名：静岡県立静岡がんセンター
都道府県名：静岡県

都道府県の情報

都道府県内の総人口	3,528,727人(R6年8月1日現在)
がん死亡者数(%)	11,035人(0.3%)(R4年)
高齢化率	30.7%(R6年4月1日現在)
後期高齢化率	17.3%(R6年4月1日現在)

引用：静岡県行政資料



静岡がんセンター 化学療法センターの情報

年間件数:29665件(2023年度)
月平均件数:2472件(2023年度)
医師:2名
看護師:21名
薬剤師:9名
栄養士:1名



病院名：静岡県立静岡がんセンター
都道府県名：静岡県

都道府県内のがん患者の状況(R2年)

がん種	罹患者数 (総数)	年齢調整罹患率 日本人口(総数)
肺がん	3207人	35.0%
大腸がん	4191人	51.2%
胃がん	2730人	29.5%
乳がん	2712人	48.8%
肝臓がん	1004人	10.5%

引用：罹患数・罹患率（最新値：2020年、e-Stat（全国がん登録））>上皮内がんを含まない

病院名：静岡県立静岡がんセンター

都道府県名：静岡県

都道府県内のがん患者の状況(R2年)

がん種	死亡者数	死亡率
気管, 気管支及び肺がん	2036人	58.4%
結腸がん	1113人	31.9%
胃がん	1110人	31.9%
乳がん	457人	13.1%
肝及び肝内胆管がん	663人	19%

引用：死亡数・死亡率（最新値：2022年、e-Stat（人口動態統計））

病院名：静岡県立静岡がんセンター

都道府県名：静岡県

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県拠点がん診療連携拠点病院 1施設

がんゲノム医療中核拠点病院

・ 県立静岡がんセンター 615床

<2023年度薬物療法延べ患者数>

12,067

地域がん診療連携拠点病院 11施設

・ 順天堂大学医学部附属静岡病院 633床

1,312

・ 富士市立中央病院 520床

1,043

・ 県立総合病院 718床

4,063

・ 静岡市立静岡病院 506床

1,647

・ 藤枝市立総合病院 564床

1,384

・ 中東遠総合医療センター 500床

1,143

・ 磐田市立総合病院 500床

1,728

・ 聖隷三方原病院 934床

1,329

・ 聖隷浜松病院 750床

2,065

・ 浜松医療センター 606床

1,644

・ 浜松医科大学医学部附属病院 613床

2,660

引用：静岡県行政資料



病院名：静岡県立静岡がんセンター
都道府県名：静岡県

がん診療病院の情報

地域がん診療病院 1施設

- ・国際医療福祉大学附属熱海病院 269床

がん相談支援センター 2施設

- ・下田メディカルセンター 134床
- ・伊東市民病院 250床

静岡県地域がん診療連携推進病院 7施設

- ・静岡医療センター 450床
- ・富士宮市立病院 380床
- ・静岡赤十字病院 465床
- ・静岡済生会総合病院 578床
- ・焼津市立総合病院 423床
- ・島田市立総合医療センター 445床
- ・沼津市立病院 387床

静岡県小児がん拠点病院 1施設

- ・県立こども病院（小児がん） 279床

引用：静岡県行政資料

病院名：静岡県立静岡がんセンター
都道府県名：静岡県

都道府県におけるがん医療の特性

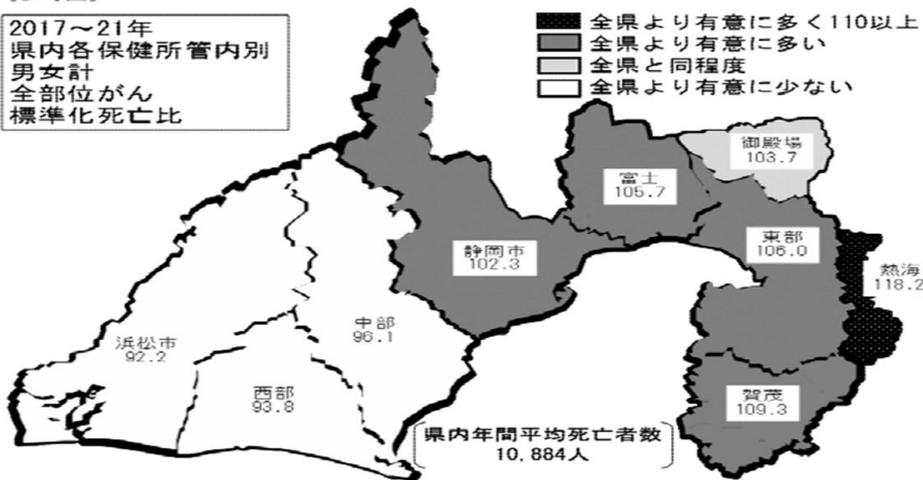
1. 死亡率

がんによる標準化死亡比は、静岡市以東が県全体より高くなっている
熱海保健所管内:118.2 静岡市保健所管内:102.3 浜松市保健所管内:92.2

[参考図]

2017～21年
県内各保健所管内別
男女計
全部位がん
標準化死亡比

■ 全県より有意に多く110以上
■ 全県より有意に多い
■ 全県と同程度
□ 全県より有意に少ない



出典：県健康政策課調査

標準化死亡比：県の死亡率をある市町に当てはめた際に計算されるその病気による死亡者数と、その市町でのその病気による実際の死亡者数を比較したもの。数値が100より大きい場合は、県平均よりもその病気による死亡者が多いと言える。



病院名：静岡県立静岡がんセンター

都道府県名：静岡県

都道府県におけるがん医療の特性

2.高齡化率

過疎地域の高齡化率が高い

高齡化率の例として、熱海市：48.6% 静岡市：30.9% 浜松市：28.5%

2019年にがんと診断された患者のうち、高齡者(65歳以上)は74.3%、後期高齡者(75歳以上)は44.6%を占めている

3.医療機関

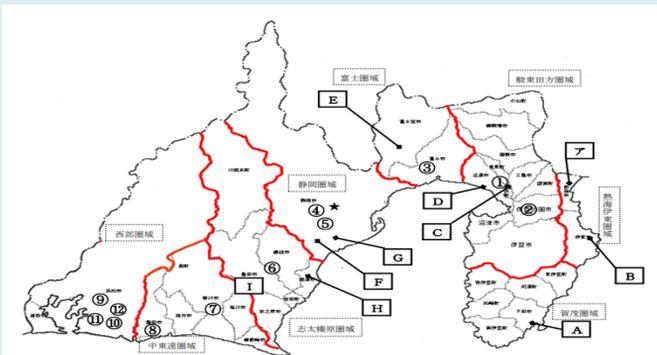
拠点病院が県中部、西部に集中している

(がん診療連携拠点病院12施設中9施設)



病院名：静岡県立静岡がんセンター
 都道府県名：静岡県

各病院の位置情報



圏域名	国指定			県指定
	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療病院	静岡県地域がん診療連携推進病院 (がん相談支援センター設置病院)
賀茂				A (下田メディカルセンター)
熱海伊東			7 国際医療福祉大学熱海病院	B (伊東市民病院)
駿東田方	① 県立静岡がんセンター G	② 順天堂大学医学部附属静岡病院		C 静岡医療センター D 沼津市立病院
富士		③ 富士市立中央病院		E 富士宮市立病院
静岡		④ 県立総合病院 g ⑤ 静岡市立静岡病院		F 静岡赤十字病院 G 静岡済生会総合病院
志太榛原		⑥ 藤枝市立総合病院 g		H 焼津市立総合病院 I 島田市立総合医療センター
中東遠		⑦ 中東遠総合医療センター ⑧ 磐田市立総合病院 g		
西部		⑨ 聖隷三方原病院 g ⑩ 聖隷浜松病院 g ⑪ 浜松医療センター g ⑫ 浜松医科大学医学部附属病院 g		
計	1病院 [1圏域]	11病院 [6圏域] 13病院 [7圏域]	1病院 [1圏域]	7病院 [4圏域] (2病院 [2圏域])

G : がんゲノム医療中核拠点病院、g : がんゲノム医療連携病院、★小児がん拠点病院(県立こども病院)

引用：静岡県行政資料



病院名：静岡県立静岡がんセンター

都道府県名：静岡県

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- 県東部は高齢化率が高く、がんによる死亡率も高い
- がん診療連携拠点病院は県西部に集中している
- がん診療連携拠点病院とそれ以外のがん診療病院との連携が不十分

【課題】

- 高齢化に伴い、意思決定など支援が必要な患者が増加
 - がん医療の地域格差、施設間格差の改善(がん医療の均てん化)
 - がん診療連携拠点病院とそれ以外のがん診療病院との連携強化
-

研修の概要

【タイトル】がん薬物療法を受ける身寄りのない患者さんへの支援

【目的】

- ・各医療機関の現状把握を行う
- ・多職種が身寄りのない患者さんへの支援に必要な知識を共有する

【対象者・人数】

- ・県内の拠点病院 原則、がん化学療法チーム(医師・看護師・薬剤師・MSW)での参加
- ・対面研修

【目標】

一般目標 (GIO)

- ・がん薬物療法を受ける身寄りのない患者さんへの必要な支援について理解できる

到達目標 (SBO)

- ・各医療機関で身寄りのない患者さんに必要な支援について討議できる



プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
13:00	13:10	0:10		オリエンテーション
13:10	14:10	1:00	職種ごとの グループワーク	各医療機関の現状を共有する
14:10	15:10	1:00	施設・職種混合 グループワーク	身寄りのない患者さんへの必要な 支援について
15:10	15:20	0:10	休憩	
15:20	16:20	1:00	施設別の グループワーク	自施設の現状と課題について
16:20	16:50	0:30	施設ごとに発表	現状共有と課題について
16:50	17:00	0:10	まとめ	



研修の評価

【実施評価】

- ・参加者へのアンケート

【結果評価】

- ・研修会の前後で変化したこと
- ・自施設における身寄りのない患者さんへの支援状況を把握し、適切な多職種連携ができる

【企画評価】

- ・参加者へのアンケート
-

セッションの詳細は時間があるようでしたら作成ください



セッション1 ○○○○

日時 ○月 ○日(○) 00:00~00:00

場所

セッティング

担当

用意するもの

【学習目標】

【事前準備】

【会場準備】

【すすめ方】

【セッションでの留意点】